

# ホームページから発信！ 地図活用

帝国書院広報室



## ■ますます重視される地図活用

今年3月、告示され、平成23年度より施行される新学習指導要領は、社会科の「指導計画の作成と内容の取扱い」の中で、「第4学年以降においては、教科用図書『地図』を活用すること」との文言が明記されました。これまでより、いっそうの地図活用が求められています。

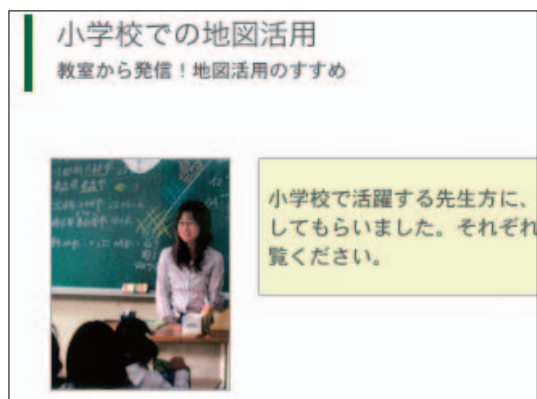
「地図活用の機会をもっと増やしたい」「新たな活用法を实践したい」など、お考えの先生も多くいらっしゃるかと思います。その際にはぜひ、帝国書院のホームページ(<http://www.teikokushoin.co.jp/>)の活用をおすすめします。

## ■先生から先生へ 指導案のバトンリレー

本誌の9月号でもご紹介しました「How to 地図活用」の中にさまざまな地図を活用した指導案やワークシートを掲載しています。トップページのバナーから入ってください。まず、先生方におすすめするのが「小学校での地図活用」のコーナーに掲載している「教室から発信！地図活用のすすめ」です。ここでは、「地図帳の基本指導」「都道府県学習」「3・4年生での活用」「5年生での活用」「6年生での活用」「その他全般」の項目に分類して指導案を掲載しています。ご執筆されたのは、実際に小学校で教鞭をとっておられる先生方ですので、実際の授業場面で役立つ内容です。ぜひ、ご参照ください。本ホーム

ページがある先生の指導案を他の先生方につなげていくバトンの役割を果たせればと思います。

ほかにも本コーナーでは、多様なコンテンツを掲載しています。授業や児童の自学自習に活用できる「すぐに使える地図活用ワークシート集」、地図の基本的な活用法の指導実践を集めた「地図指導案の広場」、地図の専門家や研究者による地図活用のポイントを集めた「研究室から発信！地図活用のすすめ」がありますので、ぜひご覧ください。



「教室から発信！地図活用のすすめ」のトップページ

## ■ホームページを活用して作る自分だけのオリジナル地図

ホームページの様々なコンテンツを活用して、独自の指導用教材を作成することも可能です。

トップページの「先生のページ」の「小学校」をクリックすると「白地図を使う」のコーナーに辿り着きます。

ここには「世界」「日本」「歴史白地図」を掲載していますが、それぞれ様々な地図があ

ります。例えば、日本の白地図は、日本全図だけでなく「日本全図（広域版・県境あり）」「同（広域版・県境なし）」「同（南西諸島分図版・県境あり）」「同（南西諸島分図版・山脈河川入り）」の5種類があります。

また、北海道地方から九州地方までの地域別地図および県別地図も掲載しています。いずれの地図もプリントアウトして、学習目的・内容に応じて活用できます。

ここでは新学習指導要領の第3学年及び第4学年の目標と内容の中から「県（都、道、府）の様子について、資料を活用したり白地図にまとめて調べ、特色を考えるようにする」実践をご紹介します。

まず、自分たちの県の白地図をプリントアウトしてB4判の台紙に貼ります。地図帳の各地方のくわしい地図を調べて、河川や平野、山地の名称などの県内の特色ある地形を記します。地図帳では山地を色で表していますので、白地図にも同様に着色するとよりわかり

やすいでしょう。次に農作物や工業製品、伝統工芸品の絵記号を書き込みます。トップページの「世界・日本の写真」から入ると、世界各国、各都道府県の風土や人々の暮らしを捉えた写真を見ることができますので、プリントアウトして白地図に貼るとよりわかりやすくなります。さらに鉄道や高速道路などの交通網やおもな都市の記号を書き入れます。このような作業を通して、地形と産業との関わりや交通網と都市の分布との関わりなどを考察します。

余白に、作業を通してわかったことや地図帳で調べた県の統計を書き込むと、より県の特色をわかりやすく表すことができます。

また、ホームページから自分の県がある地方の白地図をプリントアウトし、縮小して県の白地図の余白に貼ります。自分たちの県を赤で着色し、隣接する県の名称を記入すれば、県の位置を捉えることができます。

このように、白地図や写真、地図帳を活用することで、オリジナルの県の地図を作ることができます。もちろん、県の学習だけではなく、歴史や世界と日本のつながりの学習でも、白地図と地図帳をあわせて活用できます。ぜひ、弊社のホームページをご活用ください。

## ■地図好きが集う「広場」をめざして

わたくしどもでは、今後もホームページを通して、様々な指導案や情報を発信していきたいと考えています。一方通行ではなく、先生方の多様な指導実践例を募り、また、世界や日本の新しい情報などを集めることで、本ホームページが「地図に関する様々なことからや地図に興味がある人、地図を活用する人が集まる広場」になることをめざしてまいります。



地図帳をよく見て、白地図に書き込んでみよう